声のらん Public Voices

皆さんの「声」にお答えします。

《声のらん》では、「市長への手紙・ポスト」などに寄せられた声とその答えの中から、市民の皆さんの参考になる問答をご紹介します。（内容確認のため、連絡先と名前をご記入ください。）
【〒066-8686／東雲町2丁目34／千歳市企画部広報広聴課宛】

ペットが亡くなったときの火葬の手続などを教えてください

〔50歳代／男性〕

声 自宅でペット（大型犬）を飼っているのですが、だんだん高齢になってきたので心配です。ペットが亡くなったときの火葬の手続を教えてください。

答 犬や猫などのペットの火葬は、「お骨を拾うとき」は《葬斎場》で、「お骨を拾わないとき」は、《環境センター》で受け付けます。

お答えします

☎ (24)0261 FAX (27)3743 市民生活課 生活環境係

お骨を拾うとき

ところ 葬斎場（火葬場）／根志越1365－甲／☎ (22)2250 ／火葬時刻は9時30分と14時30分（1日2回）

火葬できる大きさ 幅50㎝×長さ180㎝／高さ50㎝まで。（今年の2月から、《段ボール製の棺》や《ペットをタオルで包む》火葬が可能となりました。）

※なお、火葬のときの注意事項など詳細については葬斎場までお問い合わせください。

使用料 左の表のとおり。

5㎏未満	7500円
5㎏以上20㎏未満	1万 500円
20㎏以上	1万5000円

お骨を拾わないとき

申込 事前の予約が必要です。友引、元日以外の8時45分～17時15分

持ち物 印鑑、登録犬は鑑札、使用料

犬鑑札
0000000

ところ 環境センター／美々758-54 ☎ (23)2110

受付 (月)～(土)、(祝)の8時30分～16時30分（(日)・年末年始は休み）／直接、亡くなったペットを持ち込む。

使用料 10㎏につき60円

※「お骨を拾わないとき」の詳細は、環境センターに直接お問い合わせください。

シリーズ 第3回 全12回

地と世の科技大

地域から世界に

地域社会と科学技術の対話の場～オープンサイエンスパーク千歳～

地域連携センター副センター長
下村 政嗣（しもむら まさつぐ） 教授
SHIMOMURA MASATSUGU

現代の科学技術は、めざましく展開しています。一方で、資源、エネルギー、環境などの社会問題はさまざまな課題を抱え、科学技術だけで解決することは不可能です。社会と科学が対話し、一緒に問題解決をめざす《トランス・サイエンス》※という考え方が不可欠です。

地域の『知の拠点・科技大』では、サケのふるさと千歳水族館、まちライブラリー@千歳タウンプラザの協力のもと、トランス・サイエンスの場として《オープンサイエンスパーク千歳》を開催しています。

千歳の強み・『豊かな自然がもたらす生態系サービス（水・緑・温泉）と交通アクセス』と、科技大の研究成果を融合した《スマートネイチャーシティちとせ》構想の実現に向けて、市民、企業、行政などのステークホルダー（利害関係者）との対話を通じて地域の現状を把握し課題を抽出するとともに、科学技術と科技大の役割を考える場です。

Snc Smart Nature City 千歳科学技術大学 × ちとせ
オープンサイエンスパーク千歳
～地域社会の対話の場～
千歳科学技術大学

…ぜひ、特設サイトをご覧ください。
https://snc.chitose.ac.jp/osp.html

2018年度は『持続可能なパッケージングからインバウンド、国土強靭化まで』を主題に3つのサブテーマを取り上げ、現状と課題について意見交換を行いました。

①パッケージング、資源回収、マイクロプラスチックから考える循環型経済
②着氷雪防止とインフラ整備
③インバウンドと国土強靭化

また、小・中学生を対象に次世代人材育成の一環として、千歳水族館と科技大キャンパスで豊かな自然と先端科学技術に触れる《体験コース》を開催しています。

シリーズ全般
公立大学法人
公立千歳科学技術大学
☎ (27)6001
FAX (27)6007

※トランス・サイエンス…科学に問うことはできるが科学だけでは答えることのできない領域。